

うれしの市議会だより

Ureshino city council

2018 Vol.50

平成30年7月27日発行 発行 嬉野市議会 / 編集 議会広報編集特別委員会 〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



肉付け予算が決まる！

ヒートアップした
チャオシル運営討論

ときの人…嬉野・新嬉野高校
ソフトテニス部

村上市長の政策を
市政に反映する予算が上程 …… P2-3

肉付け予算等の内容を審議 …… P4-9

チャオシル賛否拮抗 …… P10-11

激論! 14名の議員が
一般質問で激論 …… P12-21

ときの人として話題の市民を
シリーズで掲載 …… P24

市民の安全を守るため訓練に励む消防団

補正予算肉付けで一般会計 総額は163億900万円に

6月 定例会

6月1日から6月21日まで21日間

提出議案	件数
新たな条例	3件
条例一部改正	3件
第二次嬉野市総合計画	1件
一部事務組合の規約の変更	1件
平成30年度補正予算	5件
農業委員会委員認定農業者過半要件の例外規定適用	1件
農業委員会委員任命の同意	13件

7億4300万円を 補正

平成30年第2回定例会は、6月1日から6月21日まで21日間の日程で開催されました。（上記表の通り。ただし、専決処分3議案をのぞく。）

合計30議案について、慎重審議を行い、全議案可決となりました。（賛否表はP11）

今議会での条例については、うれしの茶交流館「チャオシル」の入館料無料化や体験料の見直しが提案され、激論の末可決しました。また、子育てに特化した事業に活用するために、ふるさと応援寄附金子育て夢基金条例が制定されました。

一般会計補正予算では、当初予算が骨格予算であったために、肉付け予算として7億4300万円の補正額となりました。新たなものとして、ふるさと応援寄附金子育て夢基金や嬉野市史編纂・編集事業、機構改革、空き家バンクリフォーム等助成事業などです。

また、継続事業としては、防犯灯整備事業、デザインウィーク事業、その他福祉や各産業関係の予算に充てられます。依然として厳しい財政状況には変わりませぬので、慎重な財政運営に心がけなければなりません。



嬉野市うれしの茶 交流館条例の一部を 改正する条例について



今年4月に開館した嬉野市うれしの茶交流館条例の一部改正が提案され、可決しました。開館して2ヶ月が経過し、入館者が予想を下回ったことから入館料が障害となっておりと判断し、入館料を無料化することが決断されました。また、体験のコンテンツを増やし、内容を充実して体験料の値上げも提案されました。

先ではないかなど厳しい議論がありました。しかしながら、多くの皆様に来館していただき、嬉野茶の歴史や文化を理解し嬉野を国内外に発信していただくことが第一であるというところで、激しい議論の末、一票差ではありませんが賛成多数で可決しました。

今後は、反対意見も十分に踏まえながら、多くの方に来館いただき嬉野茶文化の発信拠点となるように内容の充実を期待したいと思います。

嬉野市ふるさと応援寄附金 子育て夢基金条例

嬉野市ふるさと応援寄附金の一部を財源として、子どもたちが健やかに育つことを支援する子育て夢基金を設置するための条例が制定されました。平成30年度においては700万円が積み立てられ、今後子育て支援に特化した事業に活用されます。

基金として積み立てる額は、一般会計歳入歳出予算で定める額とし、毎年協議をしながら決定され、子育て支援に要する経費に充当する場合に限り処分することができま

基本的には子育て支援事業において、スピーディーな執行がなされるよう、また緊急な財政出動に対応できるような基金です。ふるさと応援寄附金を子育て支援のための基金へという考えは納得するものの、基金の積み立ての額に対し、増額を求める意見が議会の中でもありました。

そのような議論も踏まえ、今後この基金が子どもたちのために有効活用されるよう議会としても注視していくべきと考えています。



嬉野市制10年を経て 市史編纂



塩田、嬉野両町史が刊行後40年近く経過することから、新たな資料を含めた両町を融合した嬉野市史を編纂することになり、編纂委員、編集委員の報酬と、その他経費として合計622万円が予算化されました。

合併後10年が経過し、嬉野市史発刊について、意見が出されていましたが、旧時代の新たな歴史資料の発見も踏まえ、刊行に向けた編纂編集が事業化となりました。

このことが両町融合の足がかりとなればと思います。

編纂委員は大学教授、学識経験者、市役所職員などで構成し公募は行わず、また編集委員は学識経験者で行います。

市史編纂となれば個人のプライバシーに関わることも想定されるため、守秘義務を条例規定に置き、また順守できるような方を任命されます。

シーボルト駐車場を

民間業者へ

〈財産貸付収入〉

シーボルトの湯並びに近隣の商店街のお客様が利用されている「シーボルトの湯」駐車場を民間に委託し運営を効率化するため、財産貸付収入として48万円が予算化されました。

嬉野温泉公衆浴場シーボルトの湯の駐車場は、年々湯客の増加に伴い利用者数も急増し、また温泉街にも近く、温泉街のお客様の駐車場としても利用されており、うまく循環すれば更なる活性化が期待できます。しかしながら本来の設置目的とは異なった利用が多くなってきたことも踏まえ、効率よくお客様に利用していただけのような有料化に向け予算化しました。

問 民間業者選定の方法は。

答 公募型プロポーザル



▲有料化で利用しやすい駐車場に

方式で運営業者を選定する。

問 利用料は。

答 最初90分無料。一日最大500円という料

金設定を考えている。将来はカーシェアリングやレンタカー貸し出し等効率的な運営を考えている。

歓声が響き合う嬉野市へ

〈第2次嬉野市総合計画〉

嬉野市では平成20年度に「嬉野市総合計画」を策定し「歓声が聞こえる嬉野市」を目指してきました。その間、東日本大震災や集中豪雨による災害の経験等を踏まえた対応や九州新幹線西九州ルートにおける嬉野温泉駅（仮称）の事業推進など、本市を取り巻く情勢が大きく変化し、それを受けて



▲うれしいのやさしさプラン 市民とともに・・・

5年間の「嬉野市総合計画後期基本計画」が策定され、まちづくり運営が行われてきました。今回、「第2次嬉野市総合計画案」が提案され、策定にあたり議会の意見を反映させるため、全議員で構成した「嬉野市第2次総合計画に関する特別委員会」を設置しました。各分科会で執行部と素案の質疑を行い、慎重審議し、議会として提言

しました。

「第2次嬉野市総合計画」に二元代表制の責任を担う議会として今後もチエック機能を果たしていきます。

問 この計画の期間は。

答 平成30年度から8年間である。

問 市民への説明はあるのか。

答 概要版を各戸へ配布する。また、ホームページに掲載する。

市民の命を守るために

〈消防機庫整備事業〉

経年劣化している消防機庫や休憩施設のない消防機庫を更新し、消防団活動拠点施設の機能強化を図るために2490万円が予算化されました。

今回は、第四分団第一部・第二部（温泉区）の消防機庫を統合し、現在建設中のうれしの市民センター（仮称）の隣に温泉区消防機庫として設計・建設します。

また、第二分団第一部（五町田）の消防機庫を新設するため、土地取得にかかる既存物件の移転補償調査を行い、新設が計画されています。

問 嬉野町においての現在の消防機庫は、行政区から土地の貸与や提供を受け、補修などの管理も行政区が所有負担しているところもある。今後の計画はどうなるのか。

答 現在、旧塩田町の消

防機庫の全部は、市の所有であるが、旧嬉野町に関しては、各地域の状況によって違いがある。今回新設される消防機庫に関

しては市の所有として管理し、今後は地域の要望、消防団からの要請で市が整備計画を立てて行っていく。



▲消防団は安心安全の要 消防団施設の更なる整備を

本通り一方通行の社会実験

〈都市再生整備事業〉

嬉野温泉の本通り線を、期間を定め一方通行化する社会実験を行い、その効果を検証することを目的に1200万円が予算化されました。

昨年度から検討会を開催し、今年度から現地に即した社会実験を行い、安全対策、交通量等を検

証し、今後実用化が検討されます。

実施予定日は今年度9月末～10月初旬で、2週間程度の実施実験が想定されています。

社会実験とはいえ、安全面または事故防止のため、期間中は道交法に則し行われ、対策として各交差点や抜け道にガードマンが配置されます。

この実験が嬉野温泉本通りの消費活性化や、街

歩きによる交流人口の増に繋がるよう議会としても注視していきたいと思えます。

問 実施区間はどれくらいか。

答 480メートルの間である。

問 関係者の声は反映しているのか。

答 商店街組合等関係者も入った検討会のメンバーで審議している。



▲効果が出るか、社会実験

進化と創造、活力みなぎる まちづくり

〈中山間チャレンジ事業〉

年度新規事業として、中山間チャレンジ事業に100万円が予算化されました。

この事業は5カ年計画で中山間地域のそれぞれの集落や産地が主体的に行う課題や、解決策の検討及び目標の実現に向けた取り組みに対して、関

係機関が一体となり支援することにより、農業・農地の維持や農業所得の向上を目的として指導を行います。

中山間地域における集落営農の法人化や組織化などに取り組む地区をチャレンジ集落として選定し、各集落の課題解決に向け



▲チャレンジ集落指導の様子

た話し合いの助言を行います。

問 事業内容は。

答 ファシリテーター（中立的な立場で活動の支援をする人）を呼ぶことにより支援を行う。また、営農組合、機械利用組合、中山間集落協定などで地域をけん引するリーダーのための研修会を開催する。

問 ファシリテーターは誰か。

答 県の方でも推薦され、中山間地問題を専門的に携わっておられる、(元)山形大学農学部教授農山村地域経済研究所長 楠本雅弘氏にお願いした。

問 チャレンジ集落は何箇所、何回の指導講演なのか。

答 チャレンジ集落は2箇所、講演指導は年間5回。

イノシシの行動を知る カメラと箱わなの効果は 〈有害鳥獣駆除事業〉

有害鳥獣による農作物被害等を防除するため、今年度有害鳥獣駆除事業に138万円が予算化されました。

イノシシわなの見廻りは労力がかかるため、効果的な駆除ができるように遠隔でリアルタイムでの映像確認ができる自動撮りカメラと箱わなを購入



▲カメラと箱わなで省力化

します。一体で利用することによりデータを猟友会と共有し、捕獲の省力化に繋げることが目的です。これまで議会の中で有害鳥獣対策において多くの提言をしており、引き続き農作物被害削減の根本的解決に向け調査、研究をしていかなければならないと考えています。

問 設置場所はどこか。カメラ個数は。

答 みゆき公園外周に5基。

問 データ収集後貸出はあるのか。

答 貸出は将来的に猟友会を通じて対応できればと考えている。

学童に新しい教室

〈放課後児童健全育成事業〉

今回、学童保育室建設費に8170万円が予算化されました。
この事業は労働等により昼間家庭に保護者がいない小学校児童に対し、授業終了後等において適切な遊びや生活の場を与えて児童の健全な育成を図ることを目的とします。
現在は、五町田小(2)久間小(1)塩田小(1)吉田小(2)嬉野小(3)轟小(1)大草野小(1)大野原小(1)



▲待機児童解消へ

の計12クラブとなります。平成27年に「こども子育て支援新制度」の法整備に伴い、受け入れ対象が全学年へ拡大されたことにより、利用する児童数が増えたことが要因です。
これまで各学校の余裕教室を借用してこの事業を行っていましたが、利用する児童数が増え、待機児童の解消のため、今回久間小学童保育室2室(平屋)、嬉野小学童保育室4室

(2階建て)を学校敷地内に建設の予定で来年度から2クラブ増になります。
問 どうして今の時期か。
答 国からの補助率のかさ上げがあり、一般財源の持ち出しが少なくて済むため。
問 今後、専用教室の増設は。
答 かさ上げ補助金が続けば、待機児童がいる校区においては検討したい。

ワンストップの相談窓口へ

〈こどもセンター整備事業〉



▲気軽に相談！こどもセンター開設へ

今年度、「子育て世代包括支援センター」設置の法定化に伴い、こどもセンター整備事業として400万円が予算化されました。

この事業は、子育てに関する相談対応や情報発信の場を提供し、子育て中の親の支援を行う目的で整備をします。また、妊娠期から子育て期にわたるま

での支援を行うため、ワンストップの拠点をたちあげ、切れ目ない支援を実施します。センターには、専門職のコーディネーターを配置し、平成31年度開設予定です。
問 場所はどこか。
答 塩田庁舎前の保健センター内機能訓練室の一部を改修し開設する。

問 保健センターは特定検診があつているが、どうするのか。
答 検診のときはセンターを休館とする。

問 機能訓練室はどうするのか。
答 併用して使用する。

問 どのように改修するのか。
答 お茶を飲みながら気軽に相談ができる雰囲気にする。

健康な人生を 〈スポーツライフ推進事業〉

市民のライフスタイルが多様化する中、子育てや3世代間交流、退職後のライフスタイルなどに「スポーツ」を取り入れる事で市民の健康寿命を延ばし、豊かな生活をサポートするため、新規事業として100万円が予算化されました。

事業の内容は、子育て支援に活用できる親子参加型スポーツプログラムの開発や中高年向けの気軽に楽しめるスポーツ講習などに、様々なライフスタイルに活用できるスポーツプログラムを、市がスポーツ関連団体や民間企業等と連携し、共同研究なども視野に入れ実施されます。



▲たのしく長生き！

スポーツ合宿誘致、東京オリンピック・パラリンピックホストタウン等、実績がある嬉野市において、更に先進的な取り組みにより、今後も市民の健康増進とスポーツにおける交流人口の増に期待します。

問 民間企業との連携の詳細はどのようなものか。

答 共同研究として段階的にデータを取る。

問 その後はどうするか。

答 将来的に介護予防事業等に活かしていきたい。

新たに働く場を

〈企業誘致ビル整備事業〉

事務系企業のオフィスビル建設に向け、用地買収のために、5200万円が予算化されました。

かねてより、企業誘致していた、事務系企業が入るオフィスを確保し、企業誘致の推進を図ります。

東日本大震災や熊本地震を受けて、企業のICT関連のセキュリティリスクの分散のために、地方への移転の動きがある中で、オフィスを確保することで、企業誘致において優位性が働くものと考えます。

嬉野市は、約60分圏内に空港が二つあり、高速道路のインターチェンジ、さらに2022年には新幹線の駅を抱え、立地条件が整うので、ビル完成時には満室になるように誘致活動を進めていかなければなりません。



▲若者の流出を防げ

ければなりません。

問 このほか市内には工業団地予定地があり、雇用促進のためにも、あわせて製造業等の企業誘致にも努めていかなければなりません。

答 嬉野市土地開発公社が先行取得していた公共用地を取得する。

問 場所はどこのか。

答 場所はどこなのか。新幹線駅周辺である。

人口増加を目指して

〈空き家バンクリフォーム等助成〉

空き家を有効活用し、空き家所有者、または空き家を賃借する住民が、市内の施工業者を利用して物件の改修等を行う場合、その経費の一部を補助する事業として150万円が予算化されました。

登録された空き家の改修を行う場合や、家財撤去に要する経費などが補助対象となります。

空き家が増加している一方、空き家バンクへの登録が少ない状況の中で、先に行われた調査を踏まえながら、所有者との協議を行い、登録物件を増やし空き家の有効活用をしながら定住人口の増加につなげて行くことが重要です。

なお、空き家バンクへの登録は申請制度となっておりますので、企画政策課にお尋ねください。



▲空き家利用で人口減対策を

問 補助金の内容はどのくらいなのか。

答 必要経費の半額で、上限50万円となっている。

問 空き家の状態はどのようになっている。

答 活用できる物件は空き家バンクへの登録に向けて対応する。また、危険空き家についても、早急に何らかの対応をする必要があると考える。

緊急記事

西日本豪雨災害

平成30年7月、西日本の広範囲にわたる豪雨により未曾有の大災害に見舞われました。

嬉野市においても避難指示が出され、河川の増水、床上浸水、家屋の一部損壊を含む土砂災害、農地や農作物の被害など多数の報告を受け現在も日々対応にあたっています。

このような自然災害に対し、国や県または市においてハード面の対策は当然のことですが、日常から災害の備えをし、自らの命を守るための防災行動を一人ひとりが心がけること「自助」が重要です。ハザードマップ等で自らが住む地域の危険箇所を知り、大規模自然災害における被害発生状況を予測し、危険を回避して移動できるよう今一度確認をして、早めの避難行動に努めましょう。

最後にこの度の西日本豪雨災害によりお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りし、ご遺族の皆様へ衷心よりお悔やみを申し上げます。また市内も含め、被災され今なお厳しい生活を余儀なく過ごされている皆様の一日でも早い復旧と日常に戻りますことを心よりお祈り申し上げます。

嬉野市被害軒数

7/13 現在

災害種別被災箇所数	合計(箇所)
市道	22
普通河川	1
農地関係(田、畑、農業用水路、農道)	57
山林関係(山林、林道)	24
合計	104

※この他にも小規模災害等の発生あり



豪雨災害の爪跡

うれしの茶交流館条例一部改正

嬉野市うれしの茶交流館条例の一部を改正する条例について

うれしの茶交流館「チャオシル」は、嬉野茶の歴史やつくり方、おいしいお茶の入れ方教室、茶染め体験など、お茶に関する様々な体験ができる交流館として開館したが、入館者が予想以上に下回り、入館料や体験料の改正が上程された。

反対 山下芳郎 議員

6億円もの多額の投資で交流館の運営に反対したが、建設が決まった以上、運営方法等について提案してきた。

開業して間もない2ヶ月での入館料無料とは維持費の原資がなくなり理解できない。

維持費等の費用は市民の税金であり、責任ある対応とは思えない。

施設内容の充実とPRが先ではないか。

施設の魅力がないと体験料アップだけでは入館料無料にしても売上増にならない。

事業計画もなく収支計画も甘く、付け焼刃の対応である。

今回の改正は拙速であり、せめて、1年間は運営して利用者等の意見を十分議論して提案すべきではないか。また、

運営は今回計画の年間1千万円の赤字をこれ以上増やさないと努力すべきである。以上の理由で反対する。

賛成 森田明彦 議員

まず、今回、交流館開館から2ヶ月足らずで条例の改正ということ

には正直驚いた。また、昨年12月議会において、同条例を審議可決した議会の議員としての責任上も悩んだところであるが、開館直前、また開館後において市民の方々から、気軽に入館してもらおうことへの配慮

が足りない、との声も多く寄せられていた。

そこに、本年2月に新しく就任された市長が、様々な要素をふまえて、熟考されて、このタイミングでの大きな決断であろうと理解を示す

ものである。

我々も筋を通すというだけでなく、可能性のある政策に舵を切れることもまた、我々の役割だと考える。このことから、この条例改正に賛成する。

反対 増田朝子 議員

1、開館より2ヶ月での

条例改正。この事業に對し、これまでの計画の甘さが顕著である。4月の入館者数の低迷における5月連休の入館料無料実施。今回のことは入館料を無料にし、体験料を値上げすれば採算が取れるというだけの問題ではなく内容の充実が問題である。

2、設計段階から計画が甘く、開館に向けて集客の取り組み

みが十分になされたのか。

3、条例改正後の収支計画が甘く、事業計画がない。

4、条例改正に対し、現場の声を聞かれたのか。

賛成 辻浩一 議員

反対意見にあるように、管理費含め収支の課題は十分理解できるが、うれしの茶交流館の元々は嬉野茶の産業資料や文化の資料館が始まりであり、多くの方に来館いただきお茶の文化を理解していただくことが、第一義であり情報の発信基地になると確信している。無料化することにより、データ

が示すように来館者が増えている。嬉野市を多くの方にSNS等で発信していただき、嬉野市の活性化につながればと思います、この条例の改正に賛成する。

反対 山口虎太郎 議員

うれしの茶交流館条例改正について、入館料無料の早い判断は良かったと思うが、条例改正の内容と運営について議論が不十分である。

資料・集客・宣伝広告の企画が十分になされぬままオープンした経過が入館者数に現れている。市民の認知と協力を得て喜んでもらわないと6億円のお金の使い方が無駄になってしまう。市民に対して説明ができていないか。一部条例改正では納得できない。

討論ヒートアップ!

市長から提案されたこの期に、議会にて再度議論すべき部分があると判断し反対する。

反対
梶原睦也
議員

嬉野市うれしの茶交流館条例の一部を改正する条例について反対の立場で討論を行う。

そもそも本条例は、平成29年度12月議会に私たち議会と執行部において、慎重な審議の上に成立したものである。

執行部が責任をもって提案されたであろう条例を、もつと言えば4月施行の条例をたった2ヶ月で、それも議会において一番議論した入館料や体験料について、いとも簡単に改正するのは議会軽視も甚だしく、議会の信頼性をも大きく損ねる事態である。さらに入館料をタダ

にするだけで、入館者目標を達成できると本気で思っておられるのか、私には理解に苦しむところである。よって、この条例に反対する。

反対
山口政人
議員

来館者が何に価値を求めてくるのか、消費の動向はどうか、お茶そのものに魅力を感じているのか、運営を民間に任せられた方がよいのではないか。

そういった事を分析し、対応するのが先決ではないか。単純に収支のバランスを取るための改正でいいのか。2ヶ月しか経過していないのに拙速に事を運ぶべきでない、違和感がある。6億円近くの事業費を無駄にしないでほしいとの思いからこの条例改正に反対する。

私はこう判断

賛 否 表

○は賛成 ●は反対
議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名	番号	結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎一徳	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	梶原睦也
議案第46号	嬉野市ふるさと応援寄附金子育て夢基金条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	嬉野市市史編纂委員会条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	嬉野市災害被害者に対する市税等の減免に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	嬉野市要保護児童対策地域協議会条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	嬉野市うれしの茶交流館条例の一部を改正する条例について	可決	8:7	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	●	●	●	○	●
議案第52号	第2次嬉野市総合計画について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合同約の変更について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	平成30年度嬉野市一般会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	平成30年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	平成30年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	平成30年度嬉野市都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	平成30年度嬉野市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	嬉野市農業委員会の委員の認定農業者過半要件の例外規定適用について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	嬉野市農業委員会の委員の任命について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問で14名が 市政を問う!

山口 政人
議員 (P.12)

森田 明彦
議員 (P.13)

諸井 義人
議員 (P.14)

芦塚 典子
議員 (P.14)

山下 芳郎
議員 (P.15)

山口 卓也
議員 (P.16)

梶原 睦也
議員 (P.16)



ため池改修の地元負担軽減を

山口政人 議員

答 負担軽減に向けて努力する

山口 ため池は農業用水源、生態系の保存、洪水調節と重要な役割を果たしているが、老朽化している。漏水しているため池が多い。改修するとすれば工事費が大きくなり、地元負担も多額になる。地域の生命・財産を守るためにも地元負担の軽減が必要ではないか。

市長 農業の未来展望を開くためにも、また、防災・減災の観点からも国に要望していきたい。

山口 国に要望してもいつになるか分からない。市の全体の予算の中で考えていくべきだ。

市長 私もそのように考えている。

山口 実行するのか。実行に向けて努力する。

暗渠排水事業に市単独の補助を

山口 水田の暗渠排水事業に市単独の補助を考えたかどうか。

市長 財政の問題もあるが、今後、研究していきたい。

志田焼の里博物館にトイレ設置を

山口 志田焼の里博物館にトイレ設置を考えているか。

市長 重要な観光施設でもあるので補助事業の活用も含めて協議していきたい。

山口 観光地のトイレは印象を左右する。水洗化のトイレ整備が必要だ。

市長 今後は担当課、地元の方と協議していきたい。

市道の草払について

山口 市道法面の除草

については道路管理者がやるべきだ。

市長 今後、適正な対応ができるよう努力したい。

山口 農地の持ち主が行っているが高齢化で厳しい。

建設・新幹線課長 他の市町も苦慮しているのでそういった情報を得て勉強したい。

その他の質問

■行政の守備範囲について

強していきたい。

山口 予算を組んで地域の若い人に担ってもらったかどうか。

建設・新幹線課長 委託になれば傷害保険の問題があるので、少し時間が必要。



▲ため池の漏水、改修費用をどうするのか

真剣勝負!!

川内 聖二 議員
(P17)

諸上 栄大 議員
(P18)

山口 虎太郎 議員
(P18)

辻 浩一 議員
(P19)

宮崎 一徳 議員
(P20)

増田 朝子 議員
(P20)

宮崎 良平 議員
(P21)



地域コミュニティの今後の進め方は
森田明彦 議員

答 地域計画の策定を行う

森田 地域コミュニティも10年が経過して、新たに嬉野市地域コミュニティ推進第2次基本方針が策定された。今後の進め方について市長の考えは。

市長 少子高齢化や人口減少に地域で対応して

いくために、課題を解決する事業展開を挑戦、活性化という方向性をもって、各地域の計画の策定を行い、進めて行く。

森田 財政的な支援の基準はあるか。

市民協働推進課長 現在、基準は設けていないが、今後財政面も考えて支援の基準は検討する。

公共施設等総合管理計画ユニット

森田 公有財産については財政課で一元的に管理されているが、マネジメントを行う組織体制はできているか。

市長 総合的かつ計画的な進捗管理を実施するためにも専門部署の設置は必要と考えるので、次の組織機構改革時に検討をしていく。

森田 市内小中学校のプールは老朽化が進み、大規模な施設改修も予想される。施設をもたずとも天候に関係なく、専門的な指導が期待できるなど利点もある民間プールの活用を試験的に導入す



▲防災は地域コミュニティの団結が鍵

することも今後考えるべきではないか。

教育長 試行的に一部の学校を対象に、教育的効果や経済的効果など導入も視野にいれ今後、関係部局と協議検討する課題だと考える。

森田 登山口までの道路整備とトイレの対策は。口までは段階的に行う。

建設・新幹線課長 登山口のトイレを利用していただけるように、解りやすい案内看板の設置を検討する。

森田 新兵衛翁の碑まで、大茶樹辺りから遊歩道の整備は考えられないか。

市長 新兵衛翁の碑は大事にしたいが普通の遊歩道は技術、費用面から今後の課題だ。大茶樹から誘導する仕掛け等は検討する。

森田 登山口までの道路整備とトイレの対策は。口までは段階的に行う。

建設・新幹線課長 登山口のトイレを利用していただけるように、解りやすい案内看板の設置を検討する。



多

面的機能支払交付金の広域化は

諸井義人 議員

答 リーダー育成の研修会で研究したい

諸井 多面的機能支払交付金事業に取り組み組織が増加しないのはなぜか。

農林課長 地元の合意形成及びリーダーの育成が必要で地域をまとめていただければ増加すると思う。

諸井 広域化によってマンパワー的なところが解決するのではないか。

市長 代表者を対象にリーダー育成の研修会を行い、広域化できないか研究したい。

学校のトイレについて

諸井 洋式化率はどのくらいか

教育長 36・5%の比率になっており、もう少し伸ばしていいと思っている。

諸井 学校は災害時の避難所になっている。障がい者や高齢者に優しい高機能トイレが必要ではないか。

市長 未設置の学校では、備蓄の簡易設置トイレで対応する。

観光地の整備について

諸井 年々増加している塩田の観光地にはトイレが足りないのではないか。

市長 体験型の志田焼の里博物館のトイレ整備の重要性は認識している。建設費用を見出す工夫も含めて、検討をしなければと考えている。

諸井 久間地区の山あいに夫婦で築かれた志田フラワー園がある。テレビ等のメディアに取り上げられ、毎年観光客が増えているが、周辺道路の整備を伺う。

整備を伺う。

市長 地元区よりの要望を総合的に判断しながら、道路整備について進めていきたい。

うれの温泉観光課長 地元の方とも協議させていた

だきたい。

建設・新幹線課長 市内に600路線、300km延長がある。その平準化を考える。現地踏査をして、地元の方と勉強させていただきたい。



▲広域化には地元の合意形成とリーダー育成が重要

塩 田川の堤防劣化箇所は

芦塚典子 議員

答 現地確認をする



芦塚 塩田川堤防の劣化やパイピングなどの地元陳情はないか。

建設・新幹線課長 県と市、地元立ち合いで確認する。

芦塚 以前の堤防決壊場所での、かごマット工法の強度は十分か。

産業建設部長 現地で視

察をして県土木につなぐ。

芦塚 浦田川排水機場のポンプアップは降雨時に稼働を早くできないか。

建設・新幹線課長 要望は土木事務所につなぐ。

芦塚 県立嬉野高校は災害時の指定避難場所として利用できるか。

総務課長 塩田校舎、嬉野校舎とも指定避難場所として利用できる。

芦塚 指定避難場所としての利用詳細はあるか。

総務課長 避難の仕方については検討していく。

歴史資料館はもっと活用を

芦塚 歴史民俗資料館はよかったとツイート等があるが、学芸員のトークイベント等はあるか。

教育長 展示会や講演会など企画があり、今後さらに活用していきたい。

芦塚 他市に比べて文化財の指定が少ないが、なぜか。

教育長 国登録文化財を申請中であり、市指定文化財など少しずつ増やしながら保存していく。



▲時代に沿った行財政改革を



行 財政改革大綱はどうなっているか

答 見直すべき所は見直す

山下芳郎 議員

山下 合併後12年経過したが、行財政の改革はどうなっているか。

市長 見直すべき所は見直している。

山下 行政嘱託員(区長)制度の見直しが必要ではないか。

市長 存続の要望が区長連名で提出されたので現時点では尊重している。
山下 区長一人の担当する住民の人数が塩田地

区は57戸で、嬉野地区は136戸と大きな開きがある。予算で区単位の補助が配分されるケースがある。不公平があるが是正すべきではないか。

市長 今後、時間をかける項目であると考えている。
山下 学校統廃合の計画は進んでいるか。

市長 人口減少は進むが、空き校舎など課題がある。統廃合等の委員会

を設置して検討している。
山下 庁舎の統合も行財政改革で検討すべきではないか。

副市長 嬉野庁舎の第一庁舎は築57年で危険な状態である。庁舎検討委員会でも方向性を出したい。
市長 新設でも建て替えても莫大な費用が伴い、対話と納得でしっかり議論をしていきたい。

山下 財政運営が厳しくなるが第3次行財政改革の策定の計画はないか。
市長 総合計画の議決を待つて取り掛かる予定。

空き家対策と活用を

山下 今回、空き家の実態調査ができたが、どう活かすのか。
総務課長 すべての空き家をデータベース化と台帳を作成して、老朽化

状態でランキング分けし活用できる物件を把握している。
山下 空き家に付随している畑の取得ができるよう検討できないか。

市長 大規模な新規就農も可能な方向で検討する。
嬉野茶推進協議会を

山下 茶生産者、茶商、行政また農協等関係団体が一体となった嬉野茶推進協議会を行政が主導して設置できないか。
市長 新たな団体を立ち上げることが適切か、関係者と協議が必要である。

その他の質問

■「検討する」の答弁に對する回答について

芦塚 特に塩田石の石造物の風化が激しいので、文化財として後世に残すことが必要ではないか。

市長 文化財保護審議会で審議をしよう。

観光「道の駅」構想を

芦塚 志田焼の里博物館や、うれしの茶交流館(チャオシル)に隣接した場所に「道の駅」構想はできないか。

市長 観光の今後の振興に役立つものであり取り組むべき課題だと思っ

ている。

大型バス駐車場を

芦塚 伝建地区の大型車の搬入で傷んだカラー道路の整備が進んでいるが、大型バス等の進入が続いている。大型バス駐車場を確保できないか。

市長 プラット前に3台の駐車場を確保している。
芦塚 浦田川河川敷に確保できないか。
市長 現場を早急に確認する。



▲決壊の不安が高まる塩田川

災害への備えは

山口卓也 議員

答 市民の命を預かるトップとして
の資質を磨いていきたい



山口 土砂災害の危険が想定される区域における防災対策、防災支援はどうするのか。

建設・新幹線課長 急傾斜地崩壊防止事業と急傾斜地崩壊対策事業がある。保全する対象の人家が5戸以上という要件がある。

山口 5戸以内で要件に満たない場所に対する防災対策、防災支援が必要と考えるがいかがか。

市長 ハード面の対応のみならず、早く避難の決断をするということが当座の対応として現実的と考える。

山口 地域における自主防災組織の育成はどう考えるのか。

市長 地域に寄り添い全力で支援していく。

山口 避難経路の確保の観点から、市道の拡幅や離合場所の充実が必要と考えるがいかがか。

建設・新幹線課長 1000以上の道路要望があるなかで、緊急車両が通れないようなところを優先的に対処している。

山口 高齢の方などの公共施設での長期にわたる避難生活は大変だと思いが、宿泊施設等との連携を検討しないのか。

市長 これまでの大地震の際は地元旅館の方が迅速に動いて受け入れをしていた。協定に

関しては、あらゆる想定を行い、精密に議論を深

母子健康手帳アプリを

梶原睦也 議員

答 速やかに検討に入る

梶原 母子健康手帳の交付手順はどうするのか。

健康づくり課長 妊娠8週〜9週目に妊娠届出書を提出。第1・第3月曜日に嬉野、第2・第4月曜日に塩田の各保健センターで交付。

梶原 母子健康手帳交付時に出産、子育ての不安や悩みにこたえることが大事ではないか。

健康づくり課長 悩みとか相談を感じ取るのは大事だと思っている。

梶原 母子健康手帳配布からお母さんは本当に忙しくなる。各種検診や予防接種忘れなどの対応はどうしているのか。

健康づくり課長 予防接種については個別通知をしている。

梶原 母子健康手帳アプリとは、検診日や予防接種日のお知らせなど様々な子育て情報を、いつでもどこでもすぐにスマホで入手利用できるとしても便利なアプリだが承知していたのか。



健康づくり課長 こういったことができるというイメージは掌握している。

梶原 このアプリは誰でもすぐに無料で利用できるが、自治体との契約により、更に身近な嬉野市の子育て情報が入手出来る。また、市のホームページとの連携も可能であり、ぜひとも導入すべきではないか。



▲スマホ世代のママに便利な味方

市長 スマホは昨今の普及率を考えると大半の子育て世代が持っている。子育て情報、行事の案内、雨天時の開催の有無など速報情報にも有望である。来年開設予定のこどもセンターの開業に合わせて、機能を連動させる形で速やかに検討に入る。

起立性調節障害について

梶原 小学生の約5%、中学生の約10%が、この障害を抱えており、不登校の3〜4割が起立性調節障害と言われているが、理解促進とその対応はどうするのか。

教育長 すでに研修をしている。対象者がいじめにあわないように配慮し、診断を受けた子供については、保護者の了解を取りながら全職員が共通理解をし、対応している。

める必要がある。

観光施策について

山口 雰囲気の上や地域内の充実が必要と思うがいかがか。

市長 市全体で稼ぎ出す観光地経営が必要と考える。川並みや緑を生かした情緒ある温泉街づくり、そして、観光連携・観光ルートづくりを担っている人材育成に努力していきたい。

健康マイレージ制度の導入について

山口 具体的導入についてどのように考えるか。

市長 定期検診の受診や市主催のスポーツイベント等の健康づくり行事への参加でポイントを付与し、一定のポイントが貯まれば嬉野市の特産品か何かをプレゼントできないかということを検討している。



▲備えあれば憂い無し（平成二年嬉野市水害）



川内 災害を起こさないためにも山林の維持管理は必要と思うが、当市はどのような状況か。

市長 森林環境税が導入され国からは、市町村が責任を持って管理せよと強く働き掛けられている。

川内 管理方法のひとつの自伐型林業とは、どのような事業か。

農林課長 自らの手によって伐採をし、採算性や環境保全も含め高い次元で両立することを持続的にやっていき森林経営で雇用の確保もできる事業である。

川内 個人が山林を放置する山離れの原因は何か。

農林課長 山林に興味があるかどうかだと思う。それと、自分の山が分からない方もいると思う。

川内 今後、当市でも

自

伐型林業を導入できないか

川内聖一議員

答 推進していく方向にならざるを得ない

自伐型林業の導入はできないか。

市長 森林経営管理法も来年から施行される。林業振興に努めるため自伐型林業を推進しなければならぬ方向になる。

移住定住促進は

川内 東京にある、認定NPO法人ふるさと回帰センターの直接の参加利用はしないのか。

市長 ふるさと回帰センターへの加入も積極的に検討をしている。

川内 当市の政策で転入奨励金の助成が、物件の購入金額500万円以上の場合で、近隣の多久市と同じである。当市は購入金額を下げているか。

市長 ハードルを下げるのは、方向性としていいのではないか。



▲適正な森林管理を

塩田川の改修を

企画政策課長 当市としては、子供が多く転入してくる家族に手厚く加算をしていく方向である。

川内 空き家バンクを利用してのお試し移住はできないか。

市長 当市としても、このような事業は必要だと考える。

産業建設部長

駅の開業に向けて、引き続き要望をしていく。



地域包括ケアシステムの構築に向け、どうするのか

諸上栄大議員

答 福祉のまちなかなめ石だと認識している

市長 地域コミュニティは、一つの福祉のまちなかなめ石になる有力組織であると認識している。先進事例も参考にしながら、地域からの提案があれば全力で支援をしたいというふうと考えている。

市長 国は、要介護度の改善ができていない自治体に対しては財政的な優遇措置も検討しているという話も聞く。そういった効果の検証という視点で重点を置いて施策を打っていきたいと考える。

市長 国は、要介護度の改善ができていない自治体に対しては財政的な優遇措置も検討しているという話も聞く。そういった効果の検証という視点で重点を置いて施策を打っていきたいと考える。

市長 ボランティアという言葉は日本語でしばしば無償奉仕という言葉に変えることが多いわけだが、福祉は皆さんの支え合い、高い志によって支えられているシステムである。しかし、それだけでは持続性という観点から、ボランティアポイントと地域通貨などと連動する取り組みも他自治体では行われている状況であり、福祉のまちを支えている方に報いるシステムも考える必要があると思う。

市長 もう一点、高齢者の生活支援のサービスを強くする視点では、地域コミュニティとの協働も大事ではないかと考えるがいかがか。

市長 ボランティアの充実が必要だと考える。そこで、

市長 生活支援体制整備に課題があるのではと

市長 生活支援体制整備に課題があるのではと



▲安心して安全な明るい老後を目指して

考える。

市長 生活支援体制整備

備事業は、平成28年度から展開され、高齢者の居場所づくりや買い物支援など、懸命に取り組まれている状況だが、その中でボランティアの充実が必要だと考える。そこで、

市長 生活支援体制整備に課題があるのではと

野版茶業会議所が必要では

山口虎太郎 議員

答 市が中心となって汗をか

はいかがか。

市長 農家経営が成り立つぎりぎりのライン。市が媒介となり汗をかかなければならない。

市長 攻めの農業施策のためには組織が必要。野版茶業会議所を必要と考えるがいかがか。

市長 他産地に倣った組織づくりが無理だとしても市が媒介となれるよう汗をかき研究していく。

水路・ため池の景観向上をせよ

山口 轟の滝上流からの市内を流れる水路・ため池の水質改善と景観づくりをどう取り組むか。

産業建設部長 法定外水路であるので、一部を市の管理の水路ということは厳しいものがある。

市長 農業用水路は地元区との協議の場、防災、あらゆる観点から話し合いの場と機会を設けていきたい。

山口 西九州茶連みどり管内の一番茶売上げは、平成20年度10億2千万円、今年度は5億9千万円である。この10年間で4億3千万円の減収となった入札実績について市長の考え



市長 生活支援体制整備に課題があるのではと



林

道を通し森林の管理をしやすくせよ

辻浩一議員

答 優先順位を付け柔軟対応する体制整備が必要

かなくてははいけないと思っている。

辻 山林の資産価値を上げるためには、林道・作業道の充実が必要ではないか。

市長 悪循環を断ち切るために先行投資も必要ではないかと考えている。林地整備の道路も投資の呼び水になると思うので、研究をしていく。

辻 水資源保全の規制が必要ではないか。

環境下水道課長 昨年度来、水源保護の条例水源保護地域の策定の研究をしている。

辻 所管はどこになるのか。

市長 どこに重きを置くかによって所管が変わるので勉強をしていく。

辻 規制をかける区域には民有地が多い。理解をいただくにも時間がかかるので、早期に議論

農林課長 基盤整備が出来ているところに近いところは、それなりの収入も出てくるが、山林は規模が広く隅々までの搬出には至っていない。

辻 荒廃が進むと、水源の確保、国土保全さらには災害時の二次災害の要因にもなる。そういった意味で国としては、新しい制度をつくって山林を守っていくという状況になっているのではないか。

市長 二次三次災害の可能性に危惧を覚えている。今回の森林環境税の導入を追い風に産業振興、雇用の推進、定住人口の拡大を林業問題に集約し解決をはかっていけると考えているので、汗をか



▲管理には林道、作業道が大事

を始めるべきではないか。
市長 その必要性を認識した。

乗降客を増やせ

辻 公共交通を維持するためには、乗降客の増が必要ではないか。

企画政策課長 地域住民

事業者、学校等と協議し、新幹線開業も考慮しなければならぬ。

辻 路線区間内であれば、どこでも乗降できるフリーストップを導入すれば、乗降客が増えるのではないかと。

市長 研究する案件だと思ふ。

チャオシルの経営改善を検討せよ

山口 「チャオシル」の利用状況はどうなっているのか。

市長 季節に応じた即応体制を整えて、広場を使ったイベント、若い茶業者のうれしの茶ミットやチャオシルマーカー、いろいろなテーマを設定し、多様な雰囲気づくりをめざす。

農業の活性化をはかれ

山口 市長が政策で掲げている攻めの農業の具体的な施策、また、実行計画をどう進めるのか。

市長 野菜等については関西市場からもっと欲しいとの要望もある、イチゴについては「佐賀19号」の有品種もあり生産拡大に努めた



▲一体となった組織づくりが重要

新

幹線開業後 観光対策は

宮崎一徳議員

答

新幹線開業に向けての事前の準備は必要不可欠である



宮崎 近隣の市町との広域連携が必要と思われる。どのように考えているのか。

市長 広域連携というのは非常に重要な要素を占める。鹿島、太良方面への交通アクセス向上も課題であり、また東彼3町の最寄り駅となり、県境を越えた連携も必要である。ハウステンボスへの直通バスもぜひ検討したい。嬉野温泉駅を西九州の観光、ビジネスの交流拠点、ハブにしたいと考えている。

宮崎 新幹線1日当た

りの乗降客と観光客の見込みはどうか。

建設・新幹線課長 乗降客数は1日あたり2100人、観光客数は1200人と想定している。

宮崎 観光客の動きの確保が必要。定期観光バスの運行で、嬉野の観光と近隣市町の観光をする施策を考えてもらいたいかがか。

市長 新幹線開業後は、移動手段を持たない方が多くなるという意味では、移動性の向上が嬉野観光で重要な施策となる。

宮崎 既存の観光施設をあらゆる視点から見直し、整備することが必要ではないか。

市長 嬉野版DMOが陣頭指揮をとり観光施設の磨き上げや観光施設を



増田 4月1日よりチャオシルがオープンしたが、感想はいかがか。

市長 入館者数が当初の目標より伸び悩んでいる。

うれしの茶振興課長 入館者数が少なかったため、5月の連休に入館料を無料にしたら、多くの方に来ていただいた。

増田 課題は何か。

うれしの茶振興課長 入館料の300円がネックになっている。まずは入館していただくための改善が必要と考える。

増田 開館までの準備と市民や市外の方に対しての周知はどのようになされたか。

うれしの茶振興課長 開館前1か月を要して市内の旅館等関係者にはパンフレット、ポスターを配ってPRしている。

増田 市内の旅館全て

う

れしの茶交流館（チャオシル）の今後は

増田朝子議員

答

お茶を楽しむ仕掛けをやっていく

にはなかつたし、旅館側から催促してロビーに置いたとあるが、いかがか。

うれしの茶振興課長 大きなところに配った。

増田 チャオシルに行くまでの看板がないがどうするか。

うれしの茶振興課長 国道からの入り口のところにある。

増田 1か所だけなのか。

うれしの茶振興課長 インターからチャオシルまでの間に表示がないので今後検討したい。

増田 うれしの温泉観光課と観光協会との連携はどのようにしているか。

うれしの茶振興課長 全国の旅行代理店やエージェントの皆さまにPRしてもらっている。

うれしの温泉観光課長 雑誌への掲載依頼、旅行者向けの観光説明会やイベ

いきたい。

その他の質問

■福祉について

■環境整備によるまちづくりについて

■子育て支援について

■人材育成について



▲更なる努力で入館者増へ

関連づけて見せ方を編集し、ブラッシュアップしていくことが大事であると認識している。

空き家対策について

宮崎 空き家の状況、また、早急に解体や除去等が必要な物件はあるのか。

市長 総数で482件、倒壊の可能性があるなど現状のままの利用が不可能な空き家が13件である。今後市空き家対策協議会で特定空き家の認定等慎

重に協議を行う。

宮崎 人的・物的被害があれば責任問題はどうか。

総務課長 基本的には所有者の責任が問われると思う。

宮崎 今後どのような対応・対策をしていくのか。

市長 除去費用の補助の条件である特定空き家の認定のための判断表の見直し、空き家調査の継続、市民への情報提供を行う。



▲広域連携が必要不可欠



宮崎 スポーツ誘致における推移、また実績の要因をうかがう。

市長 佐賀県スポーツコミッションと連携しながら国際スポーツキャンプ合宿誘致にも成功し、プロスポーツ合宿、オリンピック・パラリンピックのホストタウン認定と着実に成果を生んでいる。今後更なるトップセールスを展開していきたい。

宮崎 スポーツ誘致において素晴らしい実績を挙げてきてはいるものの、宿泊ができないという現状がある。対策等考えているのかうかがう。

市長 各種スポーツ大会に参加させていただく際に、どこにお泊りですかと尋ねた時に武雄市、鹿島市、多久市などの自然の家またはビジネスホテルだという回答をいただくことが多い。特に子

スポーツ誘致における宿泊者増に向けて

宮崎良平 議員

答 観光DMOの中の構想として検討する

どものスポーツ大会では価格帯的に厳しい。今後遊休施設等の改築、空き家対策としてリノベーションしていく中でユーススポーツのアスリート仕様の宿泊所建設も視野に入れ検討していきたい。

宮崎 合宿のための窓口を設置し、例えば市内各地の公民館、各企業団体ビル、またお寺など一般家庭を含め登録していただける施設を募り、その日空いている施設と合宿したい団体をマッチングさせ、またレンタル布団の手配、事務手続きの代行業務等までできるようなシステムの構築ができないものかうかがう。

市長 観光DMOの自ら稼ぎ出す観光地経営を考えた時にスポーツ大会の企画から、宿泊の手配、宿泊されている方のお弁当や滞在中のお世話も含

めワンストップでサービスの提供ができるような体制を構想として考えている。今後提案も含め検討していく。

その他の質問

- 部活動での外部指導者導入について
- 森林の伐採について
- 水資源保護について
- 地域おこし協力隊増員について
- みゆき公園ナイター設備拡充について



▲スポーツ誘致可能性に期待

総務企画常任委員会

目的

所管の公有財産の現状及び市内4か所のコミュニティセンター、産業遺産でもある観光施設の実態を把握するために現地調査を行った。

視察場所

- ・社会体育館
- ・山中住宅
- ・第8区画保留地
- ・一本黒木入江川圃場整備残地
- ・吉田地区工業団地予定地
- ・塩田地区工業団地予定地
- ・轟・大野原地区地域コミュニティセンター



▲地域コミュニティセンターの視察状況

委員会の意見

一部は、大草野地区地域コミュニティセンター、志田焼の里博物館、一部の公有財産や施設の現状を調査しただけであるが、課題は多く見られた。有効利用をはかるためには、処分や活用を考えなければいけないが、なかなか難しい。維持管理費の財政負担を減らし、財政確保を図るためには処分可能な物件は積極的に売却していく必要があると考えられる。

文教福祉常任委員会

目的

嬉野市では、子育て世代包括支援センターをこどもセンターと位置付けての設置が計画されている。そこで、利用者支援事業に取り組みされている吉野ヶ里町「ノイエ」の実践の内容を調査した。

委員会の意見

吉野ヶ里町は自衛隊基地のまちでもあり、お母さん方の初顔が多く孤立しやすい環境の中、子育ての悩みや情報収集の拠点として「ノイエ」が重要な位置づけとなっている。同館内に無料で使用



▲吉野ヶ里町子どもセンターでの視察状況

目的

産業建設常任委員会所管の施設について、その所在の確認と現状について調査した。

視察場所

- ・排水機場（大牟田・三ヶ崎排水機場）
- ・農業集落排水（五町田・谷所集落排水処理場）
- ・嬉野市浄化センター
- ・塵芥中継基地
- ・うれしの茶交流館
- ・清水浄水場
- ・嬉野温泉駅（仮称）周辺現場
- ・嬉野市総合体育館（仮称）



▲浄化センターの視察状況

委員会の意見

うれしの市民センター（仮称）現場
農業集落排水処理業は使用料で管理料が賄えておらず、公共下水道と市営浄化槽の使用料の統一化を図るべきと考える。コンポストの肥料販売は公平性を期すための規制が必要と考える。
嬉野温泉駅（仮称）周辺では開業にむけて順調な進捗である。開業効果が活かせるよう、広域的な連携をする組織作りが必要である。

陳情

今回、6月の定例議会において、次の3件の陳情を受けました。

市道湯野田木場線拡幅工事の陳情について
陳情者
湯野田区長
岸川久一氏
外3名

住所
嬉野市嬉野町大字
下宿丙242番地

陳情者
嬉野市鍼灸マッサージ師会
会長 藤田達美氏
住所
嬉野市嬉野町大字
下宿乙1253番地

平成30年第2回嬉野市議会定例会 会期日程

会期21日間 6月1日～6月21日

日次	月 日	開議時刻	区分	日程
第1日	6月 1日 (金)	午前10時	本会議	開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、提案理由説明、委員長報告
		本会議終了後	委員会	議案の詳細説明
第2日	6月 2日 (土)		休会	
第3日	6月 3日 (日)		休会	
第4日	6月 4日 (月)	午前10時	委員会	常任委員会
第5日	6月 5日 (火)		休会	
第6日	6月 6日 (水)		休会	
第7日	6月 7日 (木)		休会	
第8日	6月 8日 (金)		休会	
第9日	6月 9日 (土)		休会	
第10日	6月10日 (日)		休会	
第11日	6月11日 (月)	午前9時30分	本会議	一般質問
第12日	6月12日 (火)	午前9時30分	本会議	一般質問
第13日	6月13日 (水)	午前9時30分	本会議	一般質問
第14日	6月14日 (木)		休会	
第15日	6月15日 (金)	午前10時	本会議	議案質疑
第16日	6月16日 (土)		休会	
第17日	6月17日 (日)		休会	
第18日	6月18日 (月)	午前10時	本会議	議案質疑
第19日	6月19日 (火)		休会	
第20日	6月20日 (水)		休会	
第21日	6月21日 (木)	午前10時	本会議	討論・採決、閉会

要望書「嬉野市源泉集中管理事業源泉集中システム構築について(お願い)」
陳情者
嬉野市管工事協同組合
理事長 山中岩男氏
住所
嬉野市嬉野町大字
下宿乙1605番地

農業委員の任命について

今回、嬉野市農業委員会の委員の選定にあたっては、公職選挙法から、市長の任命により、議会が同意決定することになりました。認定農業者過半数要件の例外規定適用を同意し、新たに次の13名の方が嬉野市農業委員会の農業委員に任命されました。

森 和義氏
嬉野市塩田町大字馬場下

西田 昭義氏
嬉野市塩田町大字大草野

中島文二郎氏
嬉野市塩田町大字久間
杉崎 順憲氏
嬉野市嬉野町大字岩屋川内

原田 謙次氏
嬉野市塩田町大字久間

植松 和幸氏
嬉野市嬉野町大字下宿

山口智佐代氏
嬉野市嬉野町大字不動山

川内 利光氏
嬉野市嬉野町大字下宿

馬場みどり氏
嬉野市塩田町大字久間

山口 安則氏
嬉野市嬉野町大字吉田

池田 博幸氏
嬉野市塩田町大字谷所

峰 正己氏
嬉野市嬉野町大字吉田

生田 健児氏
嬉野市嬉野町大字吉田

とぎの人

嬉野・新嬉野高校ソフトテニス部 女子団体

県高校総体9年ぶりの快挙

2018年県高校総体ソフトテニス競技において、戦いの末、8連覇中の強豪清和高校を破り熱き戦いを制した嬉野・新嬉野高校女子ソフトテニス部の強さの理由を、キャプテン榮石優花さんに聞いた。

問：今の率直な気持ちは？

キャプテン：最高に嬉しいですね。これまで悔しい思いをされてきた先輩方の気持ちも背負って、チーム一丸となって戦った結果だと思います。

問：全勝での優勝でしたが厳しかった試合は？

キャプテン：清和高校戦ですね。一番手の選手が敗れたものの、最後まで粘ってくれたことでチームのムードが変わった。試合に出場した選手だけでなくチーム全体の「勝ちたい」という思いが一つになった気がしました。

問：キャプテンから見たチームの特徴は？

キャプテン：一人一人の個性が強いチームですね。普段はあまりまとまらなくて大変ですが（笑）、ここぞという時は団結するチームです。

問：嬉野市の皆さん、家族、友人へメッセージは？

キャプテン：佐賀県代表として出場させてもらい、これまでもたくさんの応援や支援をしてもらってきたので、恩返しできるように頑張りたいです。

問：監督・コーチへ一言

キャプテン：練習ではきつくて泣くほど悔しい思いをし、生活面でも叱られることが多々あるけど、私たちのことを一番考えてくれ、信じてくれている。だから私たちも信じてついて行きます。

問：最後に、8月1日から始まる三重県での全国高校総体。ぜひ目標は？

キャプテン：「最後まで諦めない」をチームの合言葉とし、一戦一戦精一杯戦い、全国ベスト8以上を目標に頑張ります！



議：練習中の貴重な時間を拝借しながらの取材にもかかわらず、キラキラと光る汗をぬぐいながら明るく丁寧に取材に答えてくれた。キャプテンがチームをまとめ、強い絆で繋がっている指導者と部員たちに触れ、県高校総体を制した理由が分かったような気がした。全国高校総体での更なる活躍を期待し、今後ともしっかりと応援していきたいと思った。

全国市議会 議長会表彰で 2名が受賞

全国市議会議長会表彰で田口好秋氏・梶原睦也議員が受賞されました。
（前）嬉野市議会議員 田口好秋氏
正副議長8年以上（特別表彰）
梶原睦也議員
正副議長4年以上（一般表彰）
の2名が表彰されました。
今後ますますの活躍を期待します。



▲表彰された梶原氏

コラム

六月の梅雨の晴れ間に、久住の山はピンクに染まる。花の終わる頃頂上を目指す。4時間かけて。ある時先を行く人が、「どうぞお先に。私はがんの闘病中です。最後かもしれないけど頂上まで登りたい」と辛そうな足取りで二歩を踏みだす。

濃い深緑の山肌に残る花の色は移ろいやすい。軽い足取りで登ってきた高齢の女性が「久住は花も終わる頃がきれいね」と声をかけてくれた。人生最後と登る人、季節の終わりを愛でる人、山はそれだけで人々の生きる印かもしれない。

▼時局満載のこの紙面にも、時折、移り行く自然の心洗われる景観も掲載したい。
（若塚）

閉会中の委員会付託案件

付託委員会名	付託事件名
総務企画常任委員会	人口減少について
文教福祉常任委員会	福祉について
産業建設常任委員会	林業について

議会広報編集特別委員会

委員長	宮崎良平
副委員長	若塚典子
委員	山下芳郎
〃	辻 浩一
〃	増田朝子
〃	山口虎太郎
〃	諸上栄大